

**「市民と専門家との対話会イン福岡」 事後アンケート結果**  
(2023年1月21日開催)

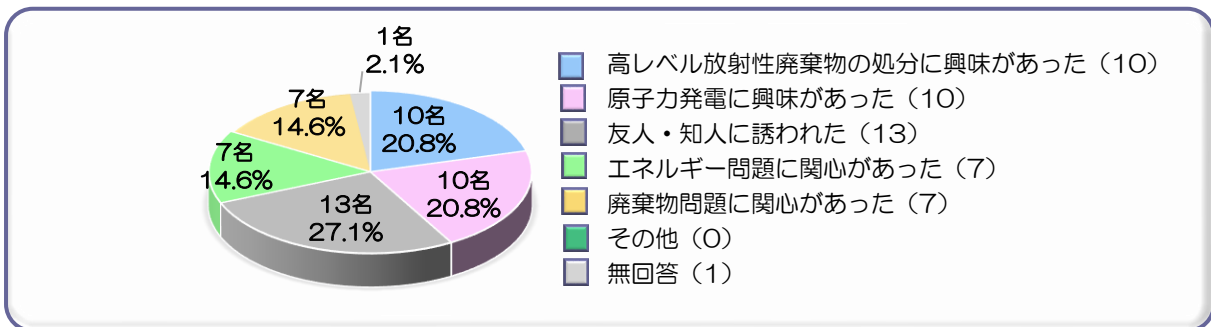
纏め：山崎 智英

\*参加者（アンケート回収数 20）

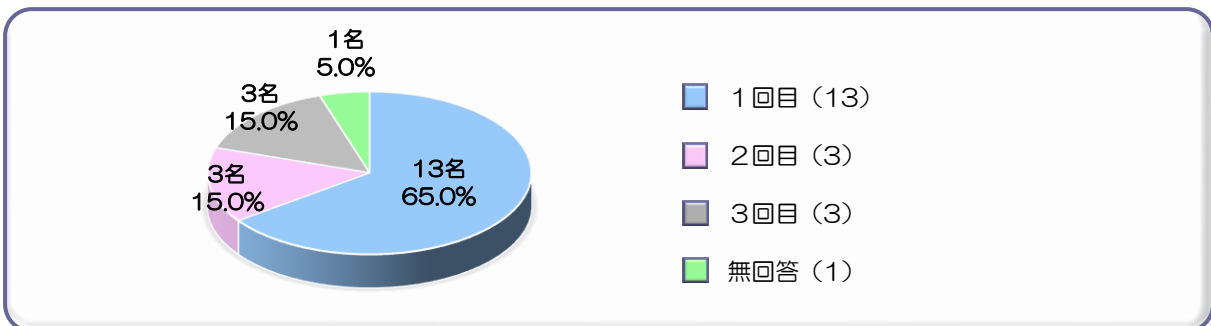
< 内訳 >

性別	男性：10名	女性：7名	無回答：3名			
年齢	20代：1名	40代：2名	50代：6名	60代：5名	70代：5名	無回答：1名
職業	商工自営業：1名	会社員：5名	会社役員：7名	無職：4名	無回答：1名	

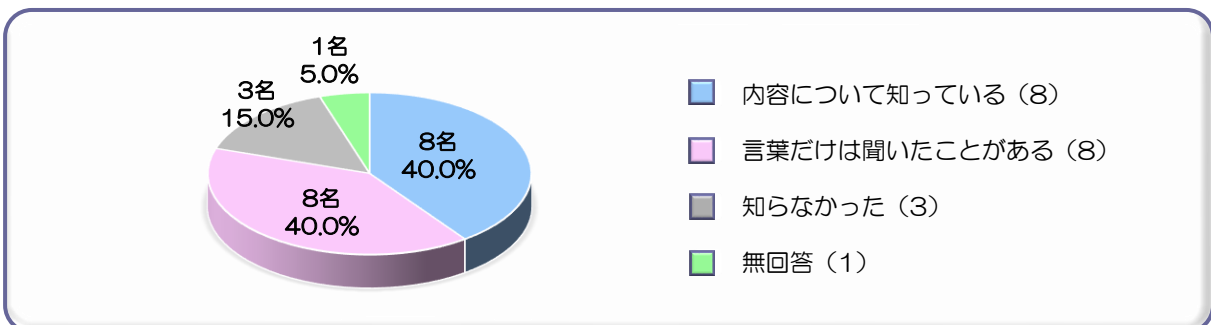
(1) 本日の対話会に参加した理由（動機）をお聞かせください。（複数回答可）



(2) 「高レベル放射性廃棄物の処分」に関するイベントに参加されたことはありますか？

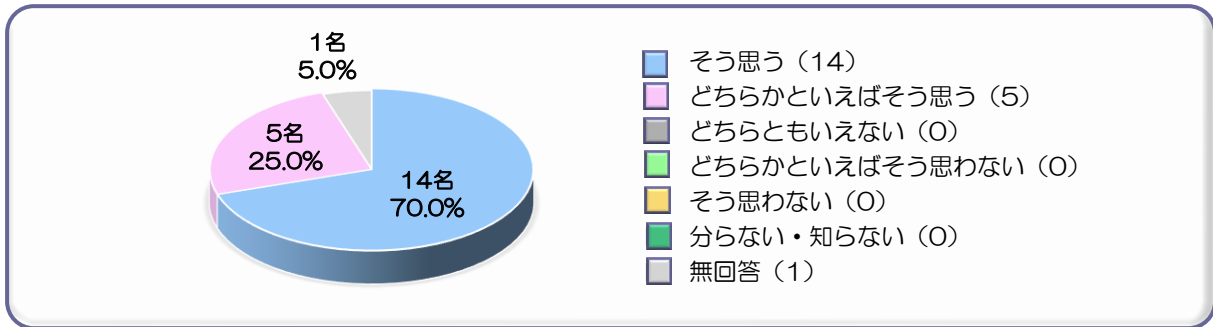


(3) 「高レベル放射性廃棄物の処分」に関してどの程度ご存知ですか？

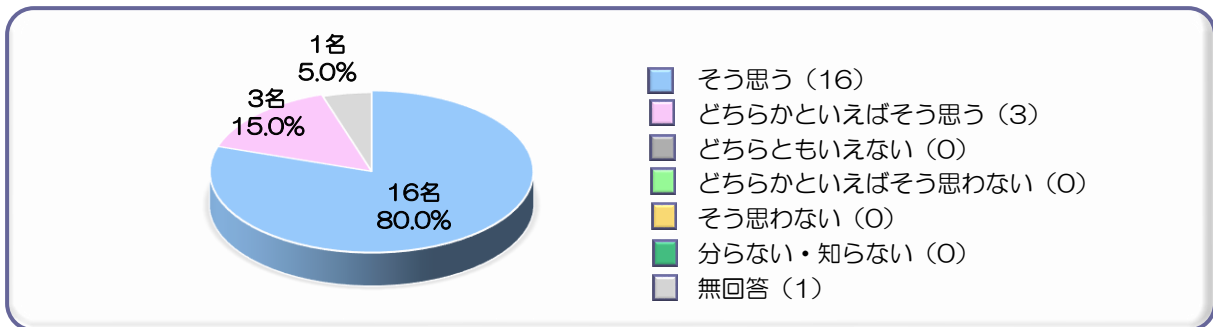


(4)「高レベル放射性廃棄物の処分」について、どのようにお考えですか？

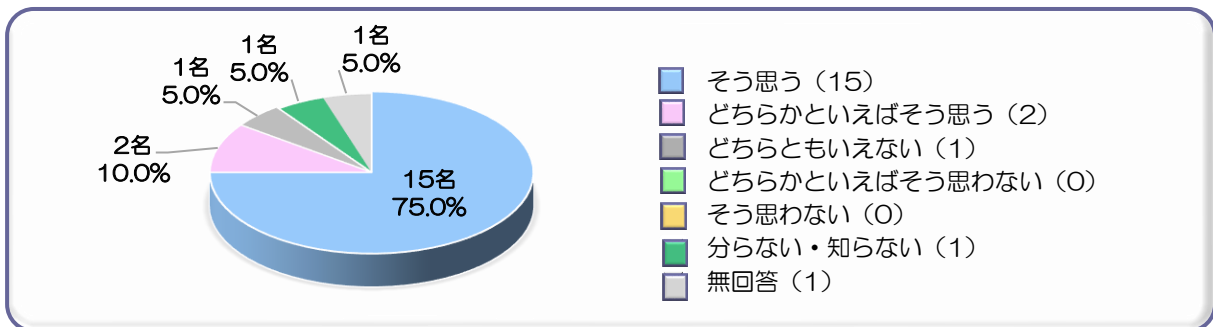
ア) 高レベル放射性廃棄物処分方法の中では地層処分が最も適切な方法である。



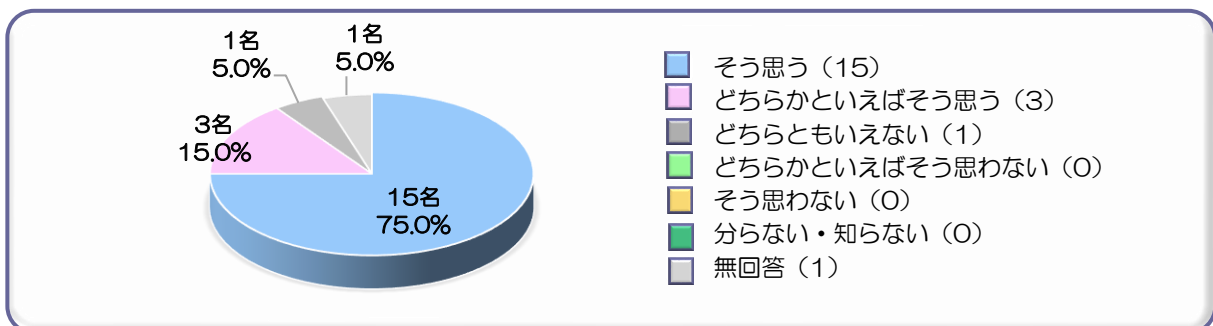
イ) 既に相当量の使用済燃料が国内に存在しているので、高レベル放射性廃棄物の「地層処分」は必要だと思う。



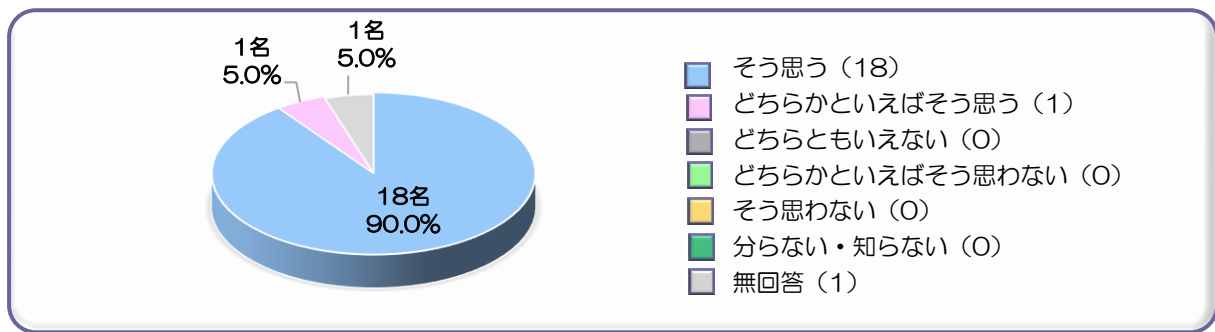
ウ) 地層処分に適している場所が国内に存在すると思う。



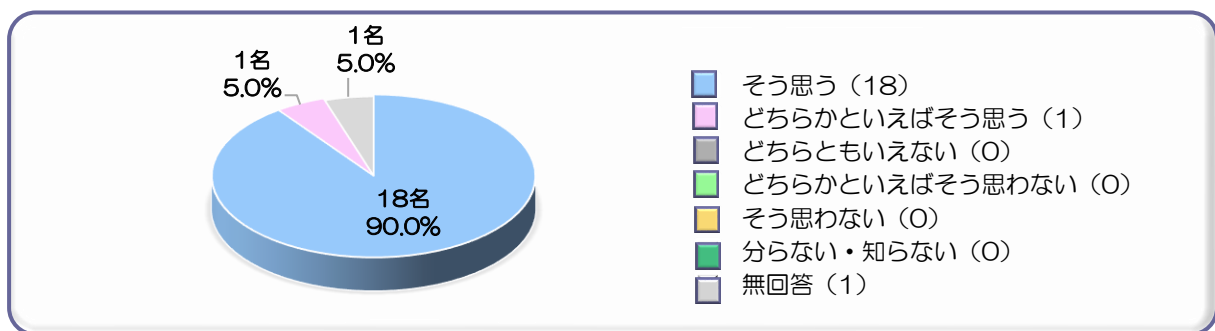
エ) 地層処分は安全に実施できると思う。



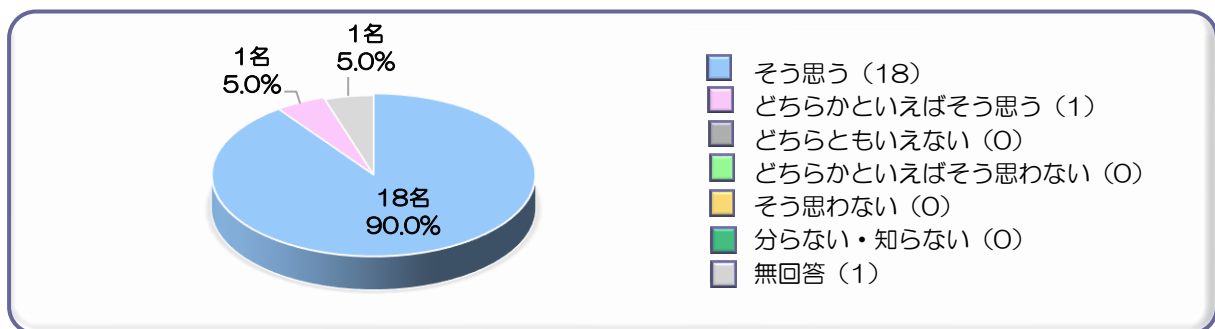
オ) 地層処分を進めることに賛成である。



カ) 地層処分事業にご協力いただく地域の人々に対して、敬意や感謝の念を持つことが重要である。

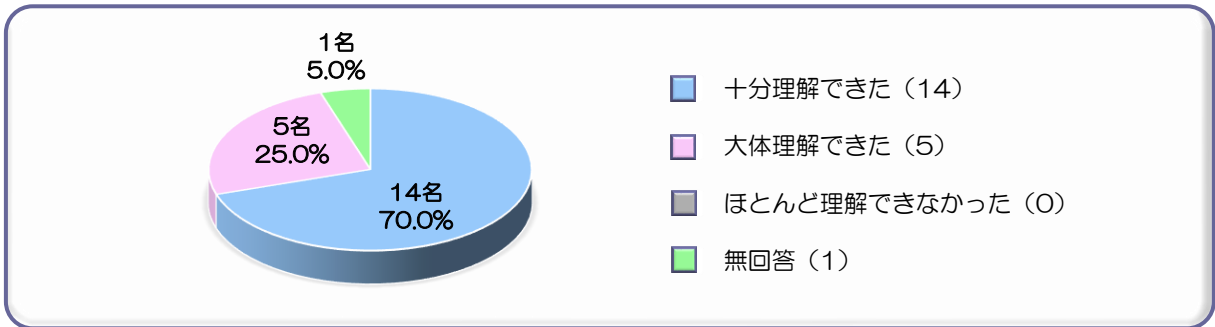


キ) 地層処分事業にご協力いただく地域に対して、経済的・財政的な支援を行うことは適切である。

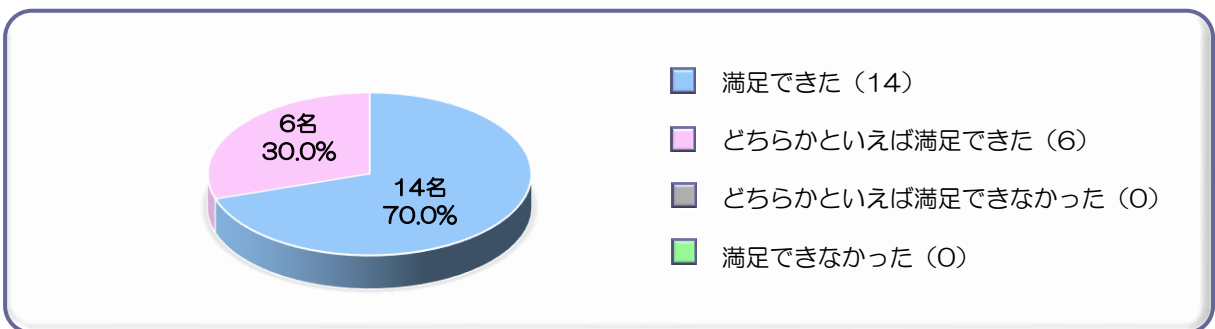


(5) 本日の対話会について感想をお聞きします。

<基調講演について>



<本日の対話会全体について>



**[満足できた]**

- 専門家の方を交えいろいろな質問ができ、より深く原子力のことを知ることができた。
- 専門家の方からの教えや質問への回答など、自分だけでは得ることのできない知識や考え方を得ることができた。
- 専門的な話も理解できた。
- 知らなかったことを知ることができた。
- 様々な方の意見を聞くことができた。
- 普段、女性同士でこのような会話をすることがほとんどないので、今日はいろいろな話を聞くことができ良かった。

**[どちらかといえば満足]**

- 皆さんの考え、意見を聞くことができ、活発な対話会で良かった。
- 自分の知らないこと（日本国の政治背景、国民性など）、問題であることを身近に感じた。
- 問題点と解決策が見えたが、時間がかかることも理解できた。
- すごく楽しく学ぶことができた。
- 良い話を聞くことができた。
- 技術的には何も心配していないのであとはどう周知するのが問題。

## (6) 本日の対話会について

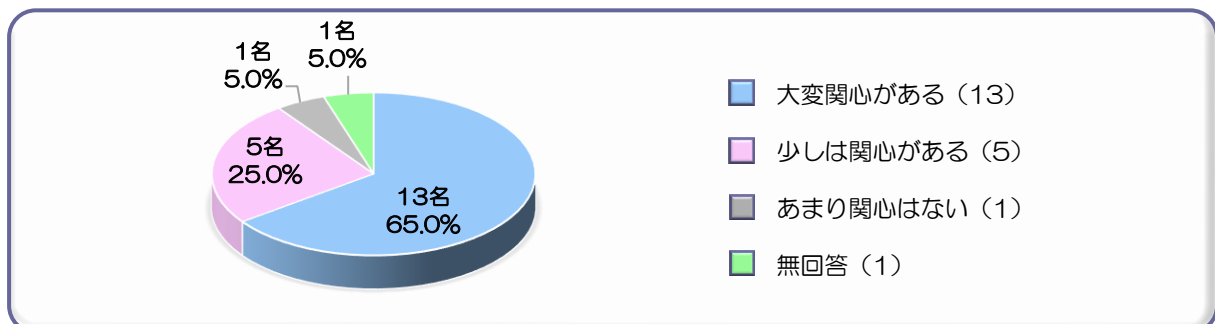
### <本日の会に参加した感想など>

- ・放射性廃棄物の処分方法について、自分が今まで怖がっていたほどではないことが分かった。
- ・参加された市民の方々の質問は興味深いものがあった。
- ・誰かが行動しないと、解決できないことが分かった。
- ・電気代が上がって庶民の関心が高まっている今こそ、前に進むチャンスである。技術者がもっと主張すべきである。
- ・九州の地も原子力を支えたい。
- ・地域発展を強く願う気持ちを知る機会となった。
- ・専門家の方の話を聞くことができ良かった。
- ・普段話すことがないことを話すことができて良かった。
- ・楽しかった。
- ・また参加してもいいと思った。
- ・大変有意義だった。
- ・大変興味深くおもしろい時間でした。ありがとうございました。
- ・原子力発電＝クリーンエネルギーという認識は以前より持っていたため、今回の会は自分の考えが間違っていなかったという認識ができました。地層処分の正当性・安全性については、メディアも含めた国民への教育が必要だと感じました。
- ・いろいろな視点からの話を聞くことができた。
- ・いろいろ意見が出て面白かった。
- ・地層処分が最良という観点で話が進んだので良かった。
- ・原発は、必要であるため処分施設も当然必要。しかし、その推進には大変苦労があることが分かった。

### <本日の対話会の企画などの改善点について>

- ・時間配分などがよかった。
- ・意外と時間が足りなかった。
- ・学生など若い方にも参加してほしい。
- ・次回は、反対派の人達にも入ってもらい、どんな議論になるか体感してみたい。
- ・とても良かった。ありがとうございました。

(7) 地層処分関連施設（幌延・深地層研究センター、六ヶ所・再処理施設等、東海・地層研究施設）を見学する機会があります。施設見学について皆様の関心についてお聞きします。



(8) その他、高レベル放射性廃棄物・エネルギー問題などについてご自由にお書きください。

- 電気は生活に欠かせないエネルギーであり、電気が使えることで、自分たちの生活が便利に潤っている。だからこそ、原子力発電は必要であり、放射性廃棄物についても国民全体が自分事のように考えた方がよいし、理解した方がよい。
- 地層処分地を決めることについて、知事、自治体の長に決定権を持たせない方がよい。
- 国が決定権を持つことにより、知事、自治体の長が個人的に攻められる状態をなくす。
- 残る課題は、処分する土地だと思いました。もっと、国主導で進めてゆくべきと思う。
- 現実的な問題としての認識ができた。
- 東海・地層処分研究施設を見学したい。
- 原子力発電所を運転するだけでも反対する人が多い中、最終処分を実現することは大変だと思いますが、とても大切なことなので、もっとこのような活動が広がればよいと思いました。
- 原発と地層処分場を住民のいない国所有の無人島の地下に作ることは出来ないのか。
- 推進する側の方は、東日本大震災後、今がチャンスである。
- 今が処分場を設置するチャンスである。
- 基本的に自分のごみは自分で処分という気持ちを小さなころから教育すべき。そのことで、ごみもごみではなくなるのがくるはず。次世代が、ごみを宝物に変える技術を生み出すことになるかもしれない。
- いらぬ風評を広げないためにも、教育は大事である。子供たちはもちろんのこと、首長や若い技術者たちにも教育を行う必要がある。
- 名前を変更したら悪評が変わる気がする。(高レベル廃棄物→原子炉の化石、処分場→永代供養など)
- 高レベル放射性廃棄物の名前をプラス思考になるような名前に変えるべき。
- 原子力の安全性や適切に処分する高レベル放射性廃棄物の安全性が国民に広く認知されればよいと感じました。本日は、貴重な機会を頂きありがとうございました。
- エネルギー問題は、国家にとって最重要課題です。政府が本気になって問題を解決すべき。
- とてもよかった。ありがとうございました。
- 原発は基本賛成なので、あとは、国民にどう理解していただくか。

以 上